2．附属病院に関する借入金元金償還額と減価償却費の差額による当期純利益への影響額は、551,537千円である。

3．過年度損益修正益は、過年度における医療統計情報プラットフォーム協力金10,000千円を今年度に収入したことにより生じたものである。

Ⅳ．キャッシュフロー計算書

1．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	6,500,282千円
うち定期預金（控除）	△ 4,200,000千円
資金期末残高	2,300,282千円

2．重要な非資金取引

寄附による資産の取得

建物	1,275千円
構築物	4,333千円
工具器具備品	82,798千円
特許権	17,604千円
図書	8,608千円
計	114,620千円

3．科学研究費補助金等は、預り金の増減として純額表示されている。

Ⅴ．国立大学法人等業務実施コスト計算書

引当外退職給付増加見積額のうち、国又は地方公共団体からの出向職員に係るものは△3,969千円である。

Ⅵ．重要な債務負担行為

該当事項なし。

Ⅶ．重要な後発事象

該当事項なし。

Ⅷ．固定資産の減損関係

⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、場所、種類、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

種類	場所	用途	帳簿価額
土地	山梨県甲府市	農地	14,539

⑵　認められた減損の兆候の概要

当該土地については使用を中断しており、遊休状態にある。

⑶　減損処理をしない根拠

回収可能サービス価額が当該資産の帳簿価額以上である。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分並びに減価償却費（「第83　特定の償却資産の減価に係る会計処理」による損益外減価償却費相当額も含む。）及び減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	15,589,972	862,470	13,393	16,439,049	4,118,594	747,006	—	—	—	12,320,455	
	構築物	707,176	64,214	252	771,137	401,981	56,221	—	—	—	369,156	
	機械装置	90,503	—	—	90,503	53,179	10,092	—	—	—	37,323	
	工具器具備品	496,629	74,552	—	571,182	477,898	40,661	—	—	—	93,284	
	船舶	0	—	0	0	—	—	—	—	—	0	
	車両運搬具	7,875	—	—	7,875	7,286	582	—	—	—	589	
	計	16,892,157	1,001,237	13,646	17,879,748	5,058,939	854,563	—	—	—	12,820,808	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	5,885,739	465,171	208,849	6,142,061	1,549,969	274,784	12,716	—	—	4,579,375	
	構築物	265,358	51,185	—	316,544	104,156	19,720	—	—	—	212,387	
	機械装置	125,398	25,974	16,492	134,880	32,683	28,652	—	—	—	102,197	
	工具器具備品	7,844,225	4,320,924	—	12,165,149	6,638,076	1,647,240	—	—	—	5,527,072	
	図書	2,719,090	59,966	30,265	2,748,791	—	—	—	—	—	2,748,791	
	車両運搬具	42,040	27,659	—	69,700	39,568	5,636	—	—	—	30,131	
	医療用放射性同位元素	10,133	—	—	10,133	5,066	1,013	—	—	—	5,066	
	計	16,891,986	4,950,881	255,607	21,587,260	8,369,521	1,977,047	12,716	—	—	13,205,022	